

混沌とした中から

プリンタについて(その3)

ドットインパクトプリンタの続きです。前回も書きましたが基本として初期のものは縦に8ドットしか打てませんでした。これは初めの頃のパソコンが今で言う半角のキャラクタしか使えなかったもので、問題は無かったのです。半角のキャラクタというのは7ドット×5ドットで構成してあるので、問題無いという訳です。最初にひらがな表示ができたのは日立のベーシックマスターだったと思いますがキャラクタ構成は同じ半角でいびつなものだったような気がします。文字のパターンは全てプリンタ側にあり、パソコン側からコード指定することにより印字するようになっています。その後ヘッドの構成が8ドットから16ドットとなり現在は24ドットになっているようです。現在はと書きましたが、まだドットインパクトプリンタは売っています。というのは、ドットインパクトプリンタにはインクジェットプリンタやページプリンタにはない特徴があります。それがドットインパクトなのですが、複写用紙といって裏側にインクがついていて上から硬いもので書くと下の紙に写るという物をご存知だと思います(これがわからないと話が進まないのですが)が、この複写用紙を使うことができます。主に自治体などの伝票印刷などに使うのですが、他のプリンタでは複数毎印刷したり、印刷したものをコピーするため同じものが一度に印刷できることからいまだに需要があります。このドットインパクトプリンタですが先にも書いたとおり16ドット以上になることによって漢字が印刷できるようになったり4色のインクリボンを使うことによってカラーのものが出たりしました。ここでインパクトプリンタのグラフィック印刷についてですが、所期のものは基本的にキャラクタしか印刷できなかったためグラフィックもグラフィックキャラクタ(灰色とか半分黒など)で印刷していました。そのうち直接グラフィック(ドット単位で印刷する)もできるようになりました。大体その頃のパソコンは画面表示でもキャラクタ表示とグラフィック表示のモード切り替えをしなければならなかったのですからプリンタがグラフィックキャラクタというのもわかると思います。それとプリンタは両方向印刷(左から右へ印刷すると改行して次の行を右から左に印刷する)することにより高速化できていたわけですが、これが怪しいものできちんと右端と左端が合わない現象が低価格のものではあり、リストを印刷すると端がガタガタになったりしました。それでグラフィックを印刷する場合は片方向印刷を設定したものです。現在のインクジェットプリンタもあったのですがノズルが目詰まりし易いなどしばらくドットインパクトが中心でした。

初期のプリンタとしてはこの他に熱転写プリンタというのがありました。今は無い家庭用ワープロ専用機のプリンタに採用されていたのですが、インクリボン(テープ状のもの)とシート状のものがあってワープロ専用機はテープ状のもの、インクを印刷ヘッドのヒータの熱によって紙に転写するものです。ワープロ専用機の場合他に感熱紙(紙の中にインクが含まれ、熱によって発色するようになっている)を利用することが出来ました。ただ、ドットインパクトの場合のインクリボンは一度にしみこんだインク全てが紙につくわけではないので薄くなるまで使えるのですが、熱転写の場合紙に転写した部分のインクがインクリボンから抜けてしまうためインクが高いのと、感熱紙ももちろん普通の紙より高いという弱点がありました。しかしこの方式はヘッドがヒータだけなので構造が簡単でプリンタの価格が安く、音が静かで印刷したものははっきりしているという良いところがあり、携帯用のプリンタに採用されたものです。(次回へ続く)

(今週の情報誌から)

○日経パソコン 9月25日号

解説 DVDは百年もつ?

→長い間残しておきたい写真やビデオやデータを入れておくDVD。長く保存できるというがどのくらい、百年もつのか。永遠持つように考えられているDVD-Rも実際は10年以上としかいえない。ちゃんとしたものでも10年から150年で粗悪品ならすぐに駄目になる。どうして読めなくなるのか、実際に解説する。

特集 パソコンのここが不満

→家庭に普通に普及し始めたパソコン。普及し始めて噴出する不満。それは、動作が遅いことと故障などで壊れること。いろいろメーカーも使いやすくしているけど、不満はいろいろ。

○日経SYSTEMS 10月号

特集 これがわれらの元気な現場

→「どうも元気が無い」といわれる運用の現場。3つの元気の本で「ヤラサレ」、「ギスギス」、「マンネリ」と決別するには。

特集 ITエンジニアのやってはいけない

→先輩から教わる「やってはいけない事」。しかしその理由を問われるとうまく説明できないことが多い。やってはいけないことをあげてそれぞれを解説する。